

令和5年度

予算の概要 参考資料

愛知医科大学病院



学校法人愛知医科大学

令和5年度予算について ＜予算編成方針＞

学是「**具眼考究**」の実践実現

- ・学是の実践実現を念頭に置いて編成。

予算編成目標

- ・資金収支予算ベースでは経済変動の影響を柔軟に受け止めるとともに、いざというときの瞬発力となる繰越支払資金の具体的な積み上げ目標金額を10億円とし、事業活動収支予算ベースでは、経常収支の黒字予算確保を図る。

事業計画の概況（1/6）

教育について(医学部・看護学部)

- 医学教育について、多彩な教員研修を実施する予定であり、6年間全体の医学教育モデルコアカリキュラムに沿ったカリキュラムを検討することや、講演会、他大学への視察などを計画し、全教員に対してスキルアップの機会を数多く提供し、効果的な教育を展開していくことを目指します。
- 共用試験への取り組みとして、CBT専用サーバーの更新や、共用試験OSCEに使用する録画機器の整備、また、評価者が評価を入力するタブレット端末の整備など公的試験化されるタイミングでの充実化を図ります。
- 解剖実習室の空調設備改修工事を行い、室内換気を行いつつ一定の温度と湿度に保つことで、解剖学実習学生、手術手技術者のホルムアルデヒド暴露低減、結露等によるカビの発生抑制を行い、室内環境を良好に保ちます。
- 看護学部において、令和7年度の博士課程開設に向けて本学の事情に明るく、しかも大学院設置申請経験が豊富な教員を招聘し、手続きの準備を進めます。

事業計画の概況（2/6）

研究について

- ヒト患者由来のiPS細胞等での病態解析等を行うことが世界的にも重要な流れになっており、本学の既設研究施設で関連性の深い加齢医科学研究所の「神経iPS細胞研究部門」として専任教員（教授1，准教授1，講師・助教2）を配置し，iPS研究を推進します。
- 研究業績管理システムを更新し，教員等のプロフィール，研究業績情報をresearchmapと連携し一元管理の上，学外に公開することで専門分野に通じた人材の存在を広く世間にアピールし，本学の知名度向上を図ります。
- 院内治験コーディネーター（臨床検査技師）2名を増員することで，院内CRCの業務過多により外部委託する事例を防ぎ，新規治験受入を円滑にできる環境を整備します。

事業計画の概況（3/6）

診療について

- リハビリテーションニーズの増大と多様化に伴い、スタッフを15名増員し実施（請求）単位数の回復，増加を図ります。多様化や潜在的なニーズに対応するため，増員と合わせて療法室の大幅な拡張を図ります。
- 令和5年1月に愛知県の重症外傷センターの指定を受けたことに伴い，今後，より効果的に重症外傷に対応できる設備が必要となるため，CTとアンギオを同一室内に備えたハイブリッドERとして整備することとしました。
- 病院建設時に導入した機器も9年を経て更新のタイミングとなることから，検査の根幹を支える採血・採尿業務システム，機器試薬トータル販売システム，MRIなどの更新を行い安定した診療体制を確保するための投資を行います。

事業計画の概況（4/6）

診療について

- 薬剤師不足に対応するため、産休・育休代替派遣の薬剤師を雇用し人員を確保すること、また、薬剤師資格を必要としない薬剤補助業務をSPDに移行し、患者記録に専念できるようにすること、さらには増加傾向にある抗がん薬調製・払い出し作業への負担軽減策として抗がん薬調製支援ロボットを導入します。
- 栄養部調理室勤務の調理師が令和9年度までにまとまって定年退職を迎えることから、残業の負担軽減策として業務の一部委託化を進めます。併せて入院栄養管理体制加算の算定が可能となったため、管理栄養士5名を採用し、5病棟を対象として配置することとしました。

事業計画の概況（5/6）

メディカルセンター

- 開院3年目を迎えるメディカルセンターは、令和5年4月から開始する365日二次救急受入れ体制の構築、近隣三次救急病院からの入院患者の受入れなど様々な取り組みに対応するため、薬剤師を始めとする医療職員合計24名の増員を行います。
- 診療用機器として、X線TV装置、骨塩定量測定装置、手術室外科用X線透視撮影装置の更新及び手術室の改修工事を行い、高機能化を図ります。また、外来患者呼び出しシステムの更新を行い、患者は混み合う診察室前以外でも待つことができるようにするなどの患者サービス向上にも努め、病院全体の機能性を高めることで、大学病院の分院にふさわしくなるよう改善を行ってまいります。

事業計画の概況（6/6）

眼科クリニック MiRAI

- 令和4年7月に開院し、2年目を迎えるMiRAIは、初めて通年活動となることで飛躍の年となることが期待されます。
- 機器整備は初年度までで概ね済んでおり、令和5年度は残る検査機器一式と視能訓練士1名の予算化であるが、3年目での黒字化に向けては知名度の向上が必須であり、広告費を積極的に計上し、患者増に努めることとしています。

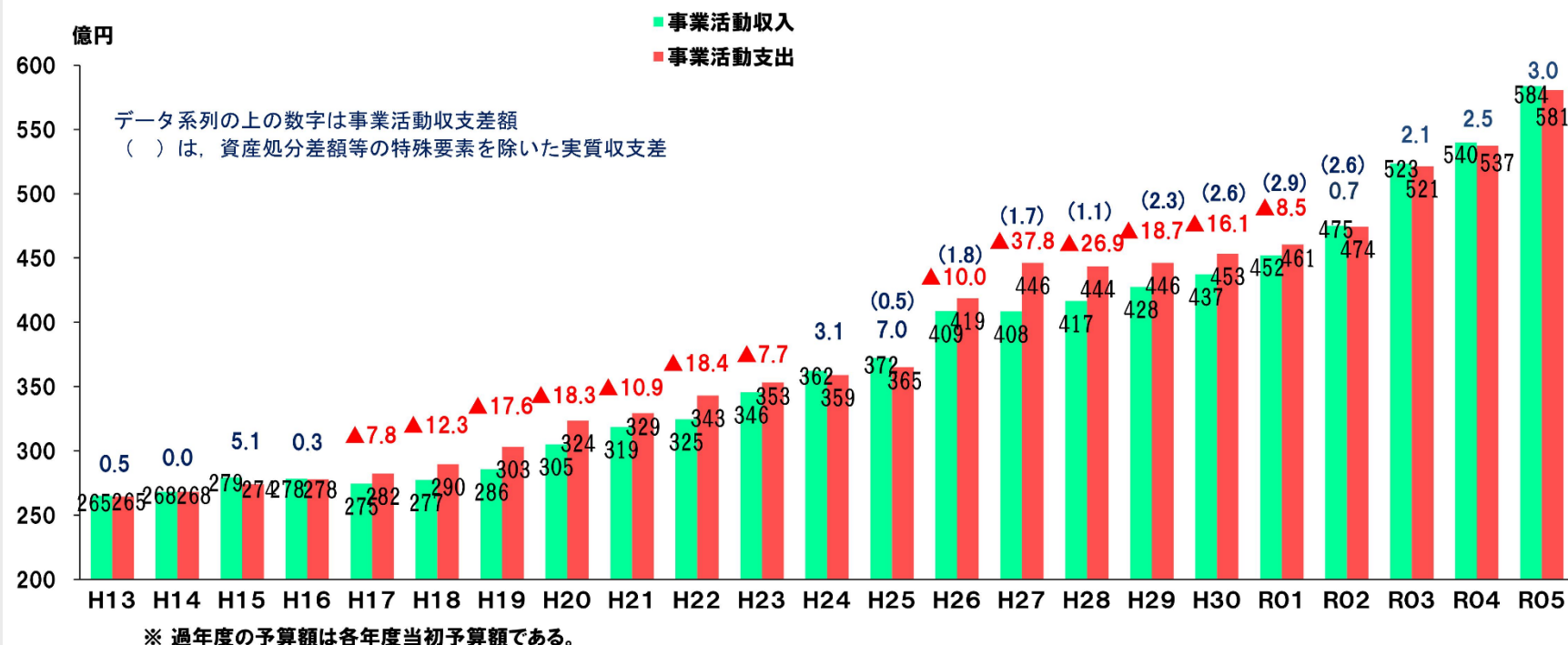
予算規模の推移

令和5年度の予算状況は、

事業活動収入 583億6,601万余円

事業活動支出 580億7,054万余円

となっており、事業活動収支差額は2億9,546万余円の黒字となっています。



教育・研究に関する重点事業

(1) 教育環境の整備

(総額21,028千円)

機材及びシステムの新規導入または追加整備

- ・ 共用試験CBTの際にデータを保存しておくための専用サーバーの更新を行う。
- ・ 公的化されるOSCEに備えて必要な録画機器等の整備をする。
- ・ 有効的な実技演習実施のため、小児シミュレーターの購入等を行う。
- ・ 実技試験や研修で利用するためのCVカテーテル挿入研修用エコーの購入をする。



機材及びシステムの更新等

- ・ 劣化が見られる学生用ロッカーの更新を行う。
- ・ シミュレーションセンター開設時に購入した高機能シミュレーターの定期メンテナンスを行う。



教育・研究に関する重点事業

(2) 特定資産を財源とする事業

(総額13,835千円)

教育研究活性化引当特定資産を財源

- 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成を実施する。
- 看護学部若手研究者に対する研究助成を実施する。

国際交流推進引当特定資産を財源

- 外国人研究者に対する滞在費助成を実施する。



教育・研究に関する重点事業

(3) 研究環境の整備

(総額104,247千円)

研究業績管理システムの更新

- 研究業績管理システムの更新を行い、専門分野に通じた人材を広く世間に公表する。

法医解剖に伴う検査機器の購入、システムの再整備

- 密閉式自動固定包埋装置の購入、及び中毒分析システムの再整備を行う。

倫理審査申請システムの改修

- 改正された倫理指針に基づく研究の審査及び管理体制を整える。

解剖実習室(研究棟101実習室)の空調設備改修工事

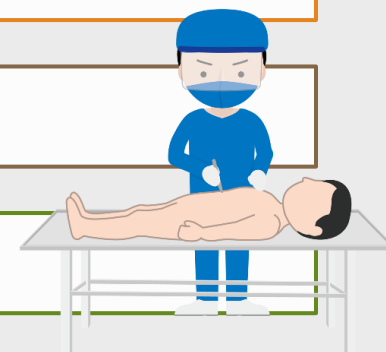
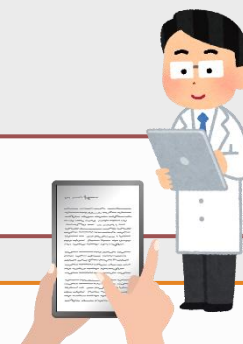
- 学生実習及びセミナー、手術手技術者の遺体解剖中における室内環境を良くする。

5号館(総合実験研究棟)におけるボイラーと熱交換器の更新工事及び空調設備更新工事

- 動物実験施設への供給設備であり、機体寿命を超えているため更新をし、飼育室の環境を維持する。

研究支援業務システム(情報管理システム)の開発・導入

- 永続的に維持・保守ができるようシステム開発を行うことで研究支援体制を強化し、大学の研究力向上を図る。



教育・研究に関する重点事業

(4) 研究活動の活性化

(総額135,063千円)

「神経iPS細胞研究部門」を設置

- ・ 加齢医科学研究所の新教育研究部門として、「神経iPS細胞研究部門」を設置し、専任教員を配置する。

薬剤感受性に関わる細胞内情報伝達分子の解析システムの更新

- ・ 老朽化している機器の更新。治療薬シーズに関わる研究成果は製薬企業との共同研究, AMED採択に繋がりがやすく, 間接経費や, 特許使用料を通した収益確保に貢献するもの。



私立大学研究ブランディング事業

- ・ 「健康維持・増進を支える次世代先制地域医療: 炎症評価コホート研究」を継続実施する。

教育・研究に関する重点事業

(5) 教員評価制度

(総額1,200千円)

教員評価制度の処遇反映

- ・ 処遇反映制度を導入することで、
教員のモチベーション向上を狙う。



教育・研究に関する重点事業

(6) その他

(総額6,268千円)

教員の研修事業

- ・ 教員に対して多彩な研修を実施し、全教員に対してスキルアップの機会を多く提供し、継続的な教育改革を実施する。

リーダーシップ研修

- ・ 改革的かつ効果的な看護学部運営のため、将来のリーダー候補者等に対して企業マネジメント等を学び、組織のマネジメントやリーダーシップを学修する。



看護学教育分野別評価の受審

- ・ 日本看護学教育評価機構の分野別評価を受審する。

本院の医療に関する重点事業

(1-1) 教員・スタッフの増員

(総額123,399千円)

消化器外科医の増員

- ・ 他大学や外部機関との連携，外来患者数の増加に対応するため消化器外科助教を1名増員する。



腎移植外科医の増員

- ・ 移植を必要とする患者に高度医療を提供するため，腎移植外科助教を1名増員する。

理学療法士，作業療法士，言語聴覚士を増員

- ・ リハビリテーションニーズ増大と多様化に対応するため，理学療法士6名，作業療法士7名，言語聴覚士2名を増員する。



本院の医療に関する重点事業

(1-2) 教員・スタッフの増員



歯科技工士の増員

- ・ 全国唯一である体表面補綴外来に歯科技工士を1名増員し、更なる患者の獲得を目指す。

臨床工学技士の増員

- ・ 医療の質, 安全性の向上をより高めるために臨床工学技士を2名(ICU部門に1名, 機器管理部門に1名)増員する。

公認心理士の増員

- ・ がん拠点病院としての機能を維持するため,公認心理士を1名増員する。

臨床検査技師の増員

- ・ 新規治験受入れを円滑に行う体制を整備するため, 臨床検査技師を2名増員する。

本院の医療に関する重点事業

(2-1) 労働環境の改善

(総額228,022千円)

管理栄養士の増員

- ・ 特定機能病院として栄養スクリーニング，多職種とのカンファレンス等実施のため管理栄養士を5名増員する。



調理補助，食器下膳業務，洗浄業務の委託化

- ・ 現在調理師が時間外勤務で行っている夕食下膳・食器洗浄業務を業務委託化する。



産休代替薬剤師の確保

- ・ 患者の待ち時間対策と働きやすい職場を維持するために産休代替薬剤師の確保を行う。



本院の医療に関する重点事業

(2-2) 労働環境の改善

薬剤(病棟, 外来薬局)補助業務の委託化

- 非薬剤師でも可能な業務をSPDへ移行することで, 薬剤師病棟業務の時間を確保し, 安全な薬物治療を行う体制を整備する。

医師事務作業補助者の増員

- 医師の負担軽減のため, 医師事務作業補助者を14名増員する。

医師対応の勤怠システムを導入

- 「診療に従事する勤務医の時間外労働上限規制」に求められる取り組みを行う。



本院の医療に関する重点事業

(3-1) 診療活性化対策

(総額2,449,303千円)

手術件数確保のための人件費

- ・ 周術期管理の質を高めるため、麻酔管理、ICU管理が可能な外部委託医の確保、周術期医療参加へのインセンティブ付与を行う。



診療看護師手当の増額

- ・ 診療看護師の増員により、年間手術件数の増加を図る。人数増に伴い、手当総額を改めて予算化。

新任教授紹介広報

- ・ 新たに就任した教授の紹介動画やパンフレットを作成し、地域医療機関や患者へ広く広報することにより、患者数の増加を図る。



本院の医療に関する重点事業

(3-2) 診療活性化対策

病院長インセンティブの支給

- ・ 病院長が入院外来診療報酬請求額の前年度対比を評価指標とし、各種項目を裁量評価することで、成果を挙げた診療科等に病院長インセンティブを支給し、診療の一層の活性化を図る。



中央棟1階経過観察入院病棟(仮称)への改修及び救急管理棟(仮称)の建設事業

- ・ 経過観察入院病棟(仮称)の14床及び救急管理棟(仮称)の連携、改修を行う。

中央棟3階外来化学療法室拡張工事

- ・ 化学療法室利用者増加に対応し、患者負担の軽減を図るため、中央棟3階外来化学療法室拡張工事を行う。



本院の医療に関する重点事業

(3-3) 診療活性化対策

・休床病床の再整備・脳卒中ケアユニット(SCU)を設置

- ・ 休床39病床の再整備を実施し，脳卒中ケアユニット(SCU)を設置することで病院機能を向上させる。

リハビリテーション医療の拡充



- ・ リハビリテーションの多様化や潜在的なニーズに対応するため，リハビリテーション医療の拡充を図る。

本院の医療に関する重点事業

(4-1) 診療用機器の整備

(総額668,522千円)

MRI-US fusion生検法の導入

- ・ 確実に病変部を狙撃生検することで生検陽性率を向上させ、患者負担の軽減を図る。

救命CT装置の更新・ハイブリッドER化



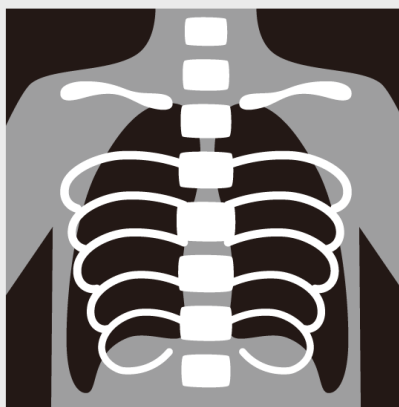
- ・ 重症外傷センターの指定を受けたことから、より効果的に重症外傷に対応できる設備が必要となるため、ハイブリッドERとして整備する。

本院の医療に関する重点事業

(4-2) 診療用機器の整備

機器の老朽化による更新

- 一般撮影FPDシステム(4室分)
- ER一般撮影室におけるX線一般撮影装置

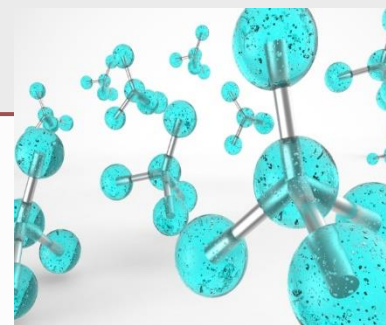


本院の医療に関する重点事業

(5) 病院運営管理の強化

(総額10,000千円)

先進医療事業



- 先進的医療技術の開発，導入，実践の推進を図るため，病院として実績作りに必要な経費を支援する。

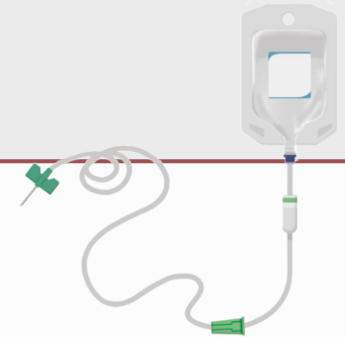
本院の医療に関する重点事業

(6) 病院システム更新関連

(総額226,670千円)

抗がん薬調製支援ロボットの導入

- ・ 抗がん薬調製件数の増加に対応するため、抗がん薬調製支援ロボットの導入を行う。



機器の老朽化による更新

- ・ 採血・採尿業務支援システム
- ・ 機器試薬トータル販売システム機器

本院の医療に関する重点事業

(7) 継続事業

(総額68,752千円)

認定看護師教育課程等受講に係る奨学金制度

- ・ キャリアアップを目指す看護師のための奨学金制度を充実させる。

災害対応事業

- ・ BCPにおける災害対応事業として医療機器、棚の転倒転落防止措置を講じる。

病院広報促進事業

- ・ 病院広報促進事業としてより一層の広報促進を図り、地域住民や連携機関との繋がりを強化する。



メディカルセンターの医療に関する重点事業

(1) 手術支援対策

(総額225,032千円)

非常勤麻酔医の採用

- ・ 全麻件数増加予定のため非常勤麻酔医の採用を行う。

南館2階 手術室ほか 整備事業

- ・ 手術室の改修工事を行い、手術室周辺を明るく安らぎのある内装にし、患者の不安を和らげる。また空調の改修、無影灯更新、術野カメラの設置や洗浄作業の業務委託など、手術室に関する運用機器等の整備を行う。



メディカルセンターの医療に関する重点事業

(2) 診療活性化対策「365日2次救急開始に向けて」

(総額129,009千円)

365日二次救急事業

- 二次救急受け入れを365日に拡大するうえで必要な手当の支給, 受付事務に関する業務委託を増加させる。



メディカルセンターの医療に関する重点事業

(3) 診療機器の整備

(総額128,100千円)

CT Colonography炭酸ガス送気装置の導入

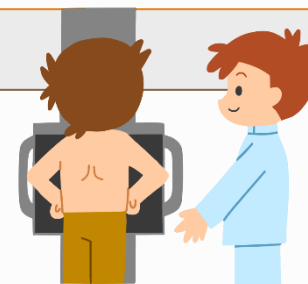
- ・ 大腸のCT検査を可能にする事業。肛門から大腸に炭酸ガスを注入した状態で腹部CTを撮影する検査方法。本院でも実施していないもの。

X線TV装置整備事業

- ・ X線TV装置を増設する撮影室に整備し、有効的に設備活用を図る。

機器の老朽化による更新

- ・ 骨塩定量測定装置
- ・ 外科用X線透視撮影装置



メディカルセンターの医療に関する重点事業

(4) 病院システム更新関連

(総額33,312千円)

外来患者呼び出しシステム(HOSPISION) 更新事業

- 更新により、情報漏洩防止、患者サービスの向上が図られる。



院内ネットワークの適正化

- 現状のセキュリティレベルでは有事の際に診療停止につながりかねない状況のため、監視、患者用Wi-Fi認証導入、リモート接続用ネットワーク構築などを図る。
昨今のサイバー攻撃に備える体制を整え、非常時にも診療停止等に繋がらないようにするもの。



メディカルセンターの医療に関する重点事業

(5) その他

(総額74,975千円)

職員駐車場整備事業

- ・ 患者及び職員の増加により駐車場不足が見込まれることから、駐車場を新たに整備する。

メディカルセンター中央受付の設置

- ・ 中央受付の設置を行い、診察から会計までの流れを円滑にすることで患者の負担を軽減する。

南館屋上防水補修工事

- ・ 6階屋上、塔屋屋根及び2,3階屋根(補修方法:ウレタン塗膜防水)竣工から19年が経過しており、防水工事を実施する。



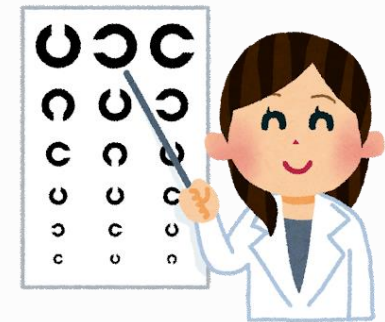
眼科クリニックMiRAIの医療に関する重点事業

(1) 診療機器の整備

(総額35,000千円)

眼科クリニックMiRAI 機器整備事業

- パノラミック オフサルモスコープ
- 視機能評価機
- IPCコントロール
- ハンドヘルドレフケラトメータ
- マイクロパルスP3



眼科クリニックMiRAIの医療に関する重点事業

(2) 広報事業

(総額14,014千円)

広報事業

- 大学レベルの高度な治療を行う眼科クリニックとして紹介元医療機関の開拓および眼科をお探しの個人への訴求のための各種広告展開を図る。



法人・大学運営に関する重点事業

(1) 創立50周年記念事業

(総額212,885千円)

愛知医科大学50年誌の作成

- ・創立50周年記念事業の一環として、歴史書(愛知医科大学50年誌(仮称))を作成する。



看護学部博士課程設置

- ・令和7年度の看護学部博士課程設置に向けて特命教育教授1名を採用する。

教育・研究・診療の基盤整備(施設・設備)事業募金

- ・昨年度に引き続き、記念事業に係る募金を卒業生、在校生父兄、取引業者等に行う。

医心館1階多目的ホールの増改築及び2階セミナー室の増設工事

- ・医心館2階の一画にある名城大学サテライト室を1階の多目的ホールへ移設し、本学学生の利用空間に限定して学習環境の向上を図るとともに、セミナー室4部屋を増設する。

法人・大学運営に関する重点事業

(2) 建物修繕

(総額121,000千円)

直流電源装置部品取替等整備工事

- ・ 各棟の電気室に設置されている直流電源装置において、経年劣化している部品を取り替える。



中央監視設備更新工事

- ・ 中央棟の全ての冷暖房設備，換気設備，給排水に至るライフラインの供給を監視する設備の更新をし，中央監視の安定稼働を図る。

法人・大学運営に関する重点事業

(3) その他

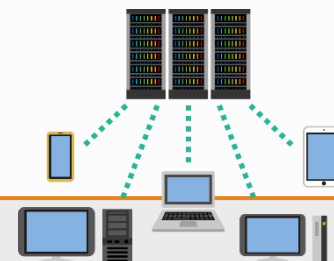
(総額86,588千円)

経営改革・イノベーション推進事業

- 理事長直轄の組織である経営戦略推進本部において、
1. 地域医療連携, 2. 救急体制の改革, 3. 働き方改革, 4. 財政基盤改革, 5. 中期計画・中期目標, 6. 本学事業部門の再編, 7. その他に取り組む。

バックアップの強化

- 法人, 大学の業務系データに関し, ランサムウェアによる暗号化を防御, 強固なセキュリティを確保する。



学生募集強化のためのオープンキャンパスの充実化

- 来場型のオープンキャンパス実施に際し, 本学のブランド力向上, 認知度拡大のために装飾物等の一新を図る。